

平成26年2月15日

き ず な

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 辻 多喜夫

住 み よ い 元 気 な 大 草 野

初会役員会

各区長及び各部長による初会合が、去る1月23日（木）に開催され、25年度の事業進捗状況及び今後のコミュニティ事業指針、役員選考委員会などが検討されました。

先進地視察をして思うこと

あの柿で有名な朝倉市の志波コミュニティ協議会を、去る2月5日（水）当コミュニティ役員20名により視察勉強してきました。朝倉市は、平成14年より本格的な取り組みが始まり、現在17地区のコミュニティ組織を配し、その地区、地区に合った事業の推進が活発に行われております。

其中で、どこの地域でも最大の問題は、高齢化問題で時代を継いでくれる後継者不足が悩みの種の様です。高齢化率29.2%（嬉野市26.6%）で過疎化が急速に進んでいます。それに伴い防犯・防災対策、子育て問題等々が将来待ったなしで来ます。その為に足腰の強い行政区や各種団体連携の「地域コミュニティ」を組織化して行こうということなのです。

このように地域コミュニティとは、一定の地域を単位としてその地域で生活する住民が自主的に参加し、住みよい地域社会を作ることを共通の目的として構成された住民の集まりをいい、地域住民と行政が対等なパートナーシップを築きながら住民が主役のまちづくりを進めて行くための地域自治活動を行う組織です。

これからは同じ地域の人たちが、自分の問題として共有し力を合わせて解決することが求められています。

地域で出来ることは地域で（自助）、地域で出来ないことは地域と行政の協働で（共助）、地域で出来ないことは行政で（公助）でと「地域コミュニティ」の推進はこの基盤づくりでもあります。今後地方分権や行財政改革が進む中で、地域社会を取り巻く環境は年々変化しています。

そのための今後の町づくりは、従来の行政主導型ではなく、住民自らが自主的な活動を展開する住民主体の町づくりへ転換することが求められています。

大草野コミュニティのスローガンであります「住みよい、元気な大草野」を目指し校区民の皆さんで真剣に考えましょう。 未来ある子供達のために！

嬉野市コミュニティ7地区連携交流会

市役所が推進するコミュニティ7地区（久間、塩田、五丁田、吉田、轟・大野原、嬉野、大草野）の各会長、事務局長が参加し、各地区コミュニティの繋がりを密にしながら全体のレベルアップを図ろうと去る2月6日（木）市役所本庁で開催され、市長より地域の発展に寄与するよう激励の訓示を頂きました。



ディサービスを訪ねて

嬉野社会福祉協議会でディサービスを利用されている三坂、式浪在中の皆様に楽しんでもらうおうと去る2月10日（月）大草野小唄保存会会員 10 名で社会福祉



会館を訪問し慰問をしました。顔馴染みも多く「楽しかったよ」「良かった、よかった」等など大変喜んでもらいました。皆さまの末永くの健康を願っております。

校区新年会

毎年恒例の校区新年会が、1月17日（金）学校の先生達初め各地区より60数名の参加を頂き研修センターにて盛大に催されました。

新年の挨拶代りの酒を飲み交わし合いながら校区内の交流が成され有意義な一日でした。

事務局通信

※「社会福祉大会」のアトラクションに大草野小唄出演決定

2月22日（土）13：30より 塩田中央公民館

多数の見学をお待ちしています

※大草野小唄保存会よりのお知らせ

2月16日（日）午後8時 研修センター

偶数月の第3日曜日午後8時より研修センターにて定期練習をしています。

踊りに興味のある方は、気軽にご参加下さい。お待ちしております。

※コミュニティ主催「グラウンドゴルフ大会」

2月16日（日）9時より 小学校グラウンド